



# 王一だより

令和4年3月号  
北区立王子第一小学校  
校長 荒木 康子

教育目標 ㊦仲良く助け合う子 ㊧身体をきたえ元気な子 ㊨よく考え最後までやりぬく子 ㊩親切で礼儀正しい子

## 有終

校長 荒木 康子

北京で開催された冬季オリンピックでの日本選手の健闘ぶりは、明るく元気の出るニュースでした。世界の強豪との競い合いは、ただならぬ精神力を要するものであるかと思いますが、子供たちには、選手の最後まで真剣に挑みぬく姿から、目標達成への希望と努力を学んでくれたことを願います。健闘を終えた各国の選手たちの表情は、全力を出し切る素晴らしさを伝えてくれました。4日からの冬季パラリンピックからも多くを学びたいと思います。

日本の生活の中には「終」という言葉に関係するものが多くあります。「終わりよければすべてよし」「終わりを全うする」、そして、「有終の美」という言葉があります。最後までやり通し立派な成果をあげたり、結果を出したりすることです。

今年度の最終月となり、学校生活も残すところ十数日になりました。この一年を振り返り、学習や生活での成長を確かめ合い、「有終の美」となるよう教育活動を展開しています。

終わりを締めくくることが、次のスタートの準備をすることでもあります。

学校では、この時期、卒業関連活動が行われています。6年生は、小学校生活の最終を迎え卒業に向け、在校生に何を伝え、何を残すかを話し合い、9つのプロジェクトチームに分かれ活動を進めています。「笑顔、協力、友情、責任、思いやり、感謝」等を大切にしたいと願う6年生の思いは、これまで6年間、友達や自分を取り巻くたくさんの人々と豊かにかかわることを通してたどりついた尊い思いといえます。

「6年生を送る会」では、どの学年の子供たちも6年生の卒業のお祝いと感謝の思いを届けていました。お世話になった6年生であり、自慢の6年生、あこがれの6年生です。6年生を送る会を境に、修了・卒業・進級・進学という大きな節目を迎えるモードが、校内に高まってきました。25日は、6年生の子供たちにとって「有終」を飾る卒業式です。子供たちにとって一生に一度しかない小学校の卒業式です。教職員も心を込め、準備を進めています。

この一年を振り返ると、保護者・地域の皆様に支えられた一年でした。新校舎への移転、創立105周年、研究発表会等、無事に終えることができたことは、ひとえに皆様方のお力添えがあったことと感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度の有終から、次年度のよきスタートへつなげてまいります。

### 学校評価結果報告

「笑顔輝く、夢を育む楽しい学校づくり」に向けて、保護者アンケート、児童自己評価、学校関係者評価、教員自己評価の各結果と次年度へ向けての改善事項等も併せて、お届けいたします。次年度の学校経営計画・教育課程等につきましては、4月11日(月)14日(木)の全体保護者会にて説明させていただく予定です。

### 学級編成替えについて

今年度の学級編成は、現6年生以外の全学年で学級編成替えを行いました。

次年度へ向けても昨年度同様、新6年生以外、1年生から5年生までの学級編成替えを実施いたします。

〔メリット〕所属感や一体感の高まり、人間関係の広がり、学級ごとの偏り調整 等